

平成24年度事業報告書

自然資源保全協会（GGT）は、設立以来、環境および自然資源の保全とその持続可能な利用を推進するというGGTの目的を達成するために、さまざまな活動を展開してきた。とくに、一般への普及活動、各種実態調査、内外を問わず志を同じくするNGOとの連携活動は重要な事業であると位置づけて積極的に取り組んでいるところである。

新公益法人制度移行への対応のため、内閣府に対し平成24年10月23日電子申請による移行認可申請手続きを行い、平成25年2月8日付けで公益認定等委員会から答申書が出た。平成25年3月19日付けで内閣総理大臣より認可書が交付され、4月1日付けで一般社団法人自然資源保全協会として設立登記を完了した。

I. 広報普及活動

(1) 講演会・会議・イベント等の開催および参加

平成24年5月26～27日に千葉県南房総市で「子供たちによる豊かな海づくり大会」を海の幸に感謝する会と共催した。一般から公募した親子30名と関係団体スタッフ20名が参加し、海の大切さや漁業の果たす役割について体験学習を実施した。

5月28～30日の3日間、来日したIWMCRラボワント代表とともに漁業関係団体や象牙関係団体を個別に訪問し、CITES関係意見交換会を行った。

12月12日に宮城県気仙沼市でサメ漁業やフカヒレ関係者約60名を対象に第16回ワシントン条約締約国会議説明会を開催した。12月27日には大阪でも漁業関係者を対象としたワシントン条約会議説明会を開催した。

平成25年3月26日、米国海洋漁業局(NMFS)漁業専門官ケリー・デニット女史を招き、GGT講演会「米国の漁業制度に関する講演会」を東京で開催し漁業関係団体から約30名が参加した。

(2) 会報等の発行

会報としてニュースレターをこれまで、8月1日と11月30日、平成25年2月8日、及び3月11日の計4回発行した。

当協会のホームページの内容は随時、更新しているところである。

(3) パンフレット、資料等の作成配布

当協会主催の講演会あるいは関連シンポジウム等の場を利用して、これまでに作成した資料やパンフレット・ポスター等の配布をおこなった。

今年度は第16回ワシントン条約締約国会議(CITES CoP16)に向けて、附属書掲載提案に対するGGTの評価と勧告(GGT Recommendation)を作成・印刷し、全締約国政府及び参加

NGOに配布した。

II. 資源情報調査活動

(1) 情報の収集

日常的に海外の環境団体等の情報を収集し、関係者に提供した。

なかでも水産庁補助事業において、海外コンサルタント6者とコンサルタント契約を締結し、海外漁場に関係する国や機関の漁業情報はじめ海外環境保護団体の動向やIUU漁業についての規制措置の動向等の情報収集につとめ、日々関係先に提供した。収集した情報は1年間で1,250件ののぼり、その情報量は250メガバイト以上となった。

(2) 調査活動の実施

水産庁からの委託事業で「海洋生物多様性国際動向調査事業」を実施している。この事業の一環として、国際動向調査第1回検討委員会を7月3日に開催した。12月21日には第2回検討委員会を開催し、CITES CoP16に向けて附属書修正提案に対する対応を議論した。2月22日に第3回委員会を開催し、3月3日から始まるワシントン条約締約国会議に向けて我が国がとるべき対応を検討した。

また、同委託事業の国内体制構築専門部会を6月8日と2月22日に開催し、サメ・海鳥・ウミガメ等の混獲問題を討議するとともにFAO水産委員会に報告するための資源評価報告書案の作成を行った。サメ類水揚げデータを継続的に収集し資源動向を分析するため、宮城県気仙沼市魚市場において聞き取り調査を実施するとともに、7月には石垣島でサメ捕獲調査に参加した。

東京象牙美術工芸協同組合からの委託事業として、平成24年度はザンビアの象牙原材料確保調査事業を行い、アフリカゾウに関する象牙資源量調査を現地で実施した。

III. 国際会議等への参加および海外交流活動

(1) 国際会議等への参加

協会役職員が下記に掲げる各種国際会議に、政府代表団員もしくはNGOとして参加した。

「第64回国際捕鯨委員会(IWC)年次会合」(パナマ)	7/2~6
「第30回FAO水産委員会」(イタリア・ローマ)	7/9~13
「ワシントン条約第62回常設委員会」(スイス・ジュネーブ)	7/23~27

「国際自然保護連合 (IUCN) 世界大会」 (韓国・済州島)	9 / 6 ~ 15
「第 16 回ワシントン条約締約国会議」 (タイ・バンコク)	3 / 3 ~ 14

(2) 海外NGOとの協力

海外のNGOとの関係強化を図り、連携を進めていくために、海外から来日したNGOの代表と意見交換をおこなった。5月と9月の2度にわたり来日したIWMC (国際野生生物管理連盟) 代表のラポワント氏を漁業関係団体や象牙関係団体に案内し、CITES関係意見交換会を個別に実施した。また、IWMCが4月にラテンアメリカ諸国を対象におこなったCITESワークショップを後援した。平成25年2月には東ヨーロッパワークショップの開催協力をIWMCに要請し、GGTが後援した。

IWMC以外にも、ベルギーのEBCDと協力して、9月にIUCN漁業ワークショップを韓国で開催するにあたってGGTが後援した。その他米国の持続可能な利用を支持する海外NGO、コンサルタントと協力して、国際会議等で連携して活動した。

また、IWCやCITESをはじめとする国際会議では、先進国、途上国を問わず、持続可能な利用を支持する政府、民間団体と積極的に連携をとり、ロビー活動をおこなうなど、会議の意思決定に影響を与えるべく、活発に活動を展開した。

IV. 会員募集活動

会員の募集活動については、ひきつづき会員獲得の努力を展開しているところである。しかしながら、東日本大震災以降の諸情勢の変化により、退会者も出てきており、当協会役員をはじめ関係者の協力により、会員数の維持増大を目指したい。3月29日現在の会員数は、普通会员が法人43、個人110、賛助会員が特別2、法人2、賛助個人297の合計454である。

貸借対照表 総括表

(平成25年3月31日 現在)

一般社団法人 自然資源保全協会

科 目	一般会計	特別会計	合 計
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	30,388,748	687,000	31,075,748
A. 現 金	(0)	(0)	(0)
B. 普通預金 (三菱東京UFJ 虎ノ門)	(3,674,354)	(0)	(3,674,354)
C. 普通預金 (三井住友 日比谷)	(25,055,516)	(687,000)	(25,742,516)
D. 郵便振替預金	(1,658,878)	(0)	(1,658,878)
未収金	0	0	0
仮払金	0	0	0
流動資産・合計	30,388,748	687,000	31,075,748
2. 固定資産			
(1) 基本財産	0	0	0
(2) 特定財産	0	0	0
(3) その他の固定資産			
什器備品	328,200	0	328,200
敷 金	1,851,232	0	1,851,232
その他の固定資産・合計	2,179,432	0	2,179,432
固定資産・合計	2,179,432	0	2,179,432
資 産・合 計	32,568,180	687,000	33,255,180
II. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	0	687,000	687,000
未払費用	304,008	0	304,008
預り金	255,492	0	255,492
仮受金	346,306	0	346,306
流動負債・合計	905,806	687,000	1,592,806
2. 固定負債			
退職金給付引当金	13,250,000	0	13,250,000
固定負債・合計	13,250,000	0	13,250,000
負 債・合 計	14,155,806	687,000	14,842,806
III. 正味財産の部			
1. 指定・正味財産	0	0	0
(うち、基本財産、特定資産への充当額)			
2. 一般・正味財産	18,412,374	0	18,412,374
(うち、基本財産、特定資産への充当額)			
正味財産・合計	18,412,374	0	18,412,374
負債 及び 正味財産・合計	32,568,180	687,000	33,255,180

正味財産増減計算書 総括表

(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)

一般社団法人 自然資源保全協会

科 目	一般会計	特別会計	合 計
I. 一般正味財産 増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 会費 収入	17,007,000	0	17,007,000
(一般会費)	(8,305,000)	(0)	(8,305,000)
法人会費	《 7,530,000 》	《 0 》	《 7,530,000 》
個人会費	《 775,000 》	《 0 》	《 775,000 》
(賛助会費)	(8,702,000)	(0)	(8,702,000)
賛助特別会費	《 7,500,000 》	《 0 》	《 7,500,000 》
賛助法人会費	《 776,000 》	《 0 》	《 776,000 》
賛助個人会費	《 426,000 》	《 0 》	《 426,000 》
② 事業 収入	500,000	19,602,125	20,102,125
IWMC(国際野生生物管理連盟)情報調査	(500,000)	()	(500,000)
海洋生物多様性国際動向調査事業	(0)	(8,861,000)	(8,861,000)
象牙原材料確保調査事業	(0)	(2,041,125)	(2,041,125)
宝石珊瑚ワシントン条約対策事業	(0)	(8,700,000)	(8,700,000)
③ 補助金等 収入	0	28,634,000	28,634,000
水産関係民間団体事業補助金事業	(0)	(28,634,000)	(28,634,000)
④ 雑収入等 収入	164,312	0	164,312
事業活動 収入・計	17,671,312	48,236,125	65,907,437
(2) 経常費用			
① 事業費 支出	2,067,303	48,236,125	50,303,428
情報活動費	(628,411)	(0)	(628,411)
IWMC(国際野生生物管理連盟)情報調査	《 418,411 》	《 0 》	《 418,411 》
GP情報 翻訳料	《 210,000 》	《 0 》	《 210,000 》
国際会議等開催費	(0)	(0)	(0)
資源情報調査費	(699,692)	(48,236,125)	(48,935,817)
海洋生物多様性国際動向調査事業	《 289,570 》	《 8,861,000 》	《 9,150,570 》
象牙原材料確保調査事業	《 13,000 》	《 2,041,125 》	《 2,054,125 》
宝石珊瑚ワシントン条約対策事業	《 0 》	《 8,700,000 》	《 8,700,000 》
水産関係民間団体事業補助金-事業	《 397,122 》	《 28,634,000 》	《 29,031,122 》
会報作成費	(739,200)	(0)	(739,200)

科 目	一般会計	特別会計	合 計
②管理費 支出	18,976,345	0	18,976,345
役員報酬	(5,730,848)	()	(5,730,848)
職員給与	(3,005,393)	()	(3,005,393)
法定福利費	(2,152,784)	()	(2,152,784)
福利厚生費	(323,357)	()	(323,357)
交 際 費	(20,000)	()	(20,000)
会 議 費	(66,100)	()	(66,100)
旅費交通費	(752,170)	()	(752,170)
通信運搬費	(337,086)	()	(337,086)
消耗品費	(300,306)	()	(300,306)
水道光熱費	(198,287)	()	(198,287)
新聞図書費	(189,831)	()	(189,831)
諸 会 費	(763,500)	()	(763,500)
支払手数料	(766,790)	()	(766,790)
事務所費	(4,089,072)	()	(4,089,072)
公租公課	(73,757)	()	(73,757)
減価償却費	(3,000)	()	(3,000)
雑 費	(204,064)	()	(204,064)
経常費用・計	21,043,648	48,236,125	69,279,773
当期経常・増減額	▲ 3,372,336	0	▲ 3,372,336
2. 経常外増減の部			
(1)経常外収益	0	0	0
(2)経常外費用	1,500,000	0	1,500,000
退職金給付引当金	(1,500,000)	(0)	(1,500,000)
当期経常外・増減額	▲ 1,500,000	0	▲ 1,500,000
当期一般正味財産・増減額	▲ 4,872,336	0	▲ 4,872,336
┌ 一般正味財産・期首残高	23,284,710		23,284,710
└ 一般正味財産・期末残高	18,412,374		18,412,374
II. 指定正味財産 増減の部			
当期指定正味財産・増減額	0	0	0
┌ 指定正味財産・期首残高			
└ 指定正味財産・期末残高			
III. 正味財産・期末残高	18,412,374	0	18,412,374